

2017ホームカミングデー参加報告

理窓会岡山支部 支部長 三浦 康男
(昭和46年 理工学部数学科 卒)

第12回を迎えた今年の「2017ホームカミングデー」(以下HCD)は、平成29年10月29日(日)に、野田キャンパス創設50周年を記念して、第1回、第2回に続き野田キャンパスで開かれました。

当日、会場に着いたのは9時頃でした。昨年はやや肌寒い曇り空の天候でしたが今年は台風22号の影響で土砂降りの雨で、多くの野外での計画が変更、中止されました。今年は前日の教え子の同窓会が当日になり、柏駅近くにホテルをとりました。柏駅経由で運河に行くのは久しぶりで、JR柏駅も大きく様変わりしていました。東武野田線は、東武アーバンパーク線と名前が変わっていましたが、運河の駅も今までなかった東口ができ、運河の鉄橋の東側に、大変立派な橋が架かっていました。

当日は理窓会山田前会長、一昨年岡山へお越しいただいた増淵副会長、維持会森野会長、坂本副会長、そして久しぶりに並木栄一先生にもお会いでき、挨拶をしました。

以下私が参加した催し物などを中心に、当日の概要を報告します。

記念講演「言葉の力で夢を叶える」 書道家 武田 双雲 (講義棟 K103教室)

武田双雲氏は、理工学部情報科学科の卒業生で、NTTに就職後母親の影響で書道家として独立され、NHK大河ドラマ等の数々の題字を手がける他、2013年から文化庁から文化交流使に任命され、海外でも活動の場を広げ活躍されています。

実は、ホームカミングデーの1週間後に、私の住む玉野市で「夢の叶え方～言葉の力・書の手～」と題して、主に中学生・高校生を対象に講演会をお願いしていたので、講演後にお会いして1週間後の講演のお願いをしました。

10時30分から約1時間の予定で始まった講演は、興味ある内容がたくさんで、予定を10分ほどオーバーしました。

司会は、昨年の岡山支部の総会お越しいただいた、歌手の祥子さんが務めました。

以下、印象に残ったことを箇条書きにします。

- ・私は私自身、多動性の発達障害と思う。
- ・小学校の先生が「 $1 + 1 = 2$ の=の意味は、 $1 + 1$ と2は同じと言う意味です。」と教えてくれたときに、 $1 + 1$ はすべて直線で、2は曲線なのに、どうして直線と曲線が同じなんだと思った。
- ・字にこだわりがある。年賀状の宛先の種分けのバイトをしたときに、人の書く様々な字を見つめ、スピード感を以て種分けできなかったため、早々と首になった。
- ・原因が結果を生むと言われるが、結果が原因を引き寄せることもある。
- ・「あいにくの雨」と言われることがあるが、私は雨は大好きで「あいにく」ではな

- い。雨を喜んでいる人もいる。ですから、NHKは「あいにく」という表現を止めた。
- ・ 田んぼの田の字を書いてください。1画目を左に膨らみ と書いた人、
のように大体真っ直ぐに書いた人、右に膨らみ と書いた人、人より
書く字の一部でも性格が表れます。2画目を止める人と止めない人もいます。
 - ・ 私は人見知りがありませんが、これは両親のお陰だと思えます。「お前は誰々のよう
に・・・できない。」とか「お前は 人のように・・・しない。」 などと、書道
以外は怒られたことがない。
 - ・ NTTを止めるときに辞表を書いたが、辞表の字は舌の横を「幸」と書いた。
 - ・ 一期一会という言葉は、意味深い。たとえば、僕の父親は、パチンコで負けパチンコ
に負け店を飛び出したが、そこで昔の恋人と喧嘩をして走って街の方に行っていた母
とぶつかり、それが縁で結婚し私が生まれた。父親がパチンコに負けなかったら、母
が喧嘩しなかったら、どちらか1つでも違っていたら、今の僕はいない。
 - ・ 幸せになりたいではなく、幸せだと思って生きていくことである。

理工学部創設 50 周年記念式典(13号館1311教室) 第1部 12:30～14:10

1 開会挨拶

本山理事長の予定であったが、都合により岡村常務理事が行った。本山理事長のメッセージを代読しました。

2 理工学部の教育、研究改革、再構築についての講演

① 理工学部長 井手本 康

- ・ 今後に向けて、学部・大学院6年一貫教育コースの検討

② 野田キャンパス担当理事 兵庫 明

- ・ 新7号館（仮称）を建設し、NODA教育研究センターを設置する。
- ・ 東京物理学校校舎の復元工事も計画している。

3 理工学部の将来を検討するパネル討論会

高見 則雄（理工 工化 S58卒）東芝 研究開発センター 主席技監

- ・ 失敗しても再チャレンジできる社会にオープンな教育研究に期待する。

小谷 秀仁（理工 応生科 H2卒）パナソニックヘルスケア 代表取締役社長

- ・ 理工学部の将来に、世界は期待している。

為近 和彦（理工 物理 S58卒）TAM教育企画 代表取締役社長

- ・ 理工学部は、理学部、工学部の滑り止めになっていないか。

富田 英雄（理工 機 S56卒）富田製作所 代表取締役社長

- ・ 広い専門知識だけでなく、幅広い人間性を持った人材の育成を望む。

横田 和巳（理工 数学 S56卒）茨城県立水海道高等学校 校長

- ・ 中・高の教員の人材育成に期待する。

(フロアコメンテーター)

松本 恭介 (理工 情科 S 5 7 卒) 埼玉県立川口高等学校 校長
川崎 光雄 (理工 土工 S 5 5 卒) 清水建設 (株) 土木東京支店 上席エンジニア
宮地 淳 (理工 電気 S 6 1 卒) T O T O (株) 執行役員

(課題)

- ① 理工学部・理工学研究科における今後の教育の在り方
- ② 理工学部・理工学研究科における今後の研究の在り方
- ③ 学生へのメッセージ
- ④ 教員へのメッセージ

各パネリストやフロアコメンテーターの意見の他、上の4つの課題について討論しました。

理工学部創設50周年記念式典 第2部 (野田キャンパス カナル会館)

14:30~15:30

- 1 武田 双雲氏によるライブペインティング
- 2 全体レセプション

理工学部創設50周年記念式典 第3部 15:30~17:00

学科ごとのレセプション

以上でしたが、記念式典の第3部は時間の都合で参加しませんでした。

平成29年11月6日

理窓会岡山支部 支部長 三浦 康男